

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	33	学校名	十津川高等学校
----	----	-----	---------

1. 取組名 十津川村交流・活性化プロジェクト

2. 活動内容

十津川村で行われる祭り等にボランティアとして参加した。主に祭りの会場設営、運営補助、清掃に取り組んだ。また、村の文化祭では司会も行った。村内の各地域で行われる祭りに積極的に参加し、村内の方々と交流をしながら、祭りを盛り上げた。9月には国道168号線の十津川道路開通式の司会を、12月には、生徒会役員を中心に村内3カ所の保育所に行き、音楽部と合同で保育所の子どもたちと交流した。

3. 成果と課題

夏期休業中にも関わらず、祭りのボランティアには、多くの生徒が積極的に参加し、ボランティア活動の意義を感じることができた。さらに、生徒はボランティアを行う中で、指示されたことに対応するだけでなく、自分たちにできることを自発的に考えて行動することができた。また、ボランティア活動の後、村内の方々に感謝の言葉をいただき、自己有用感も高めることができた。さらに加えてコミュニケーションもたくさん取ることができた。

課題として、現状のボランティアは、毎年恒例のものになっている。今までの活動は引き続き行いつつ、新たな取組を考えていく必要がある。また、村内生徒の参加率を上昇させたい。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

ボランティア活動を通じて、感謝される機会が多くあったことで、自己有用感を高めることができ、一定の教育効果があったと考える。また、高齢者の方が多い村内において、村内の行事に高校生が参加することで、村の活性化にも貢献できたと認識している。

次年度は生徒が自分たちにできること・村の活性化に繋がることを考える機会を本校独自のふるさと共生コースの授業などとリンクさせ、生徒が自ら考えたボランティアや地域との協働を実施していきたいと考えている。

